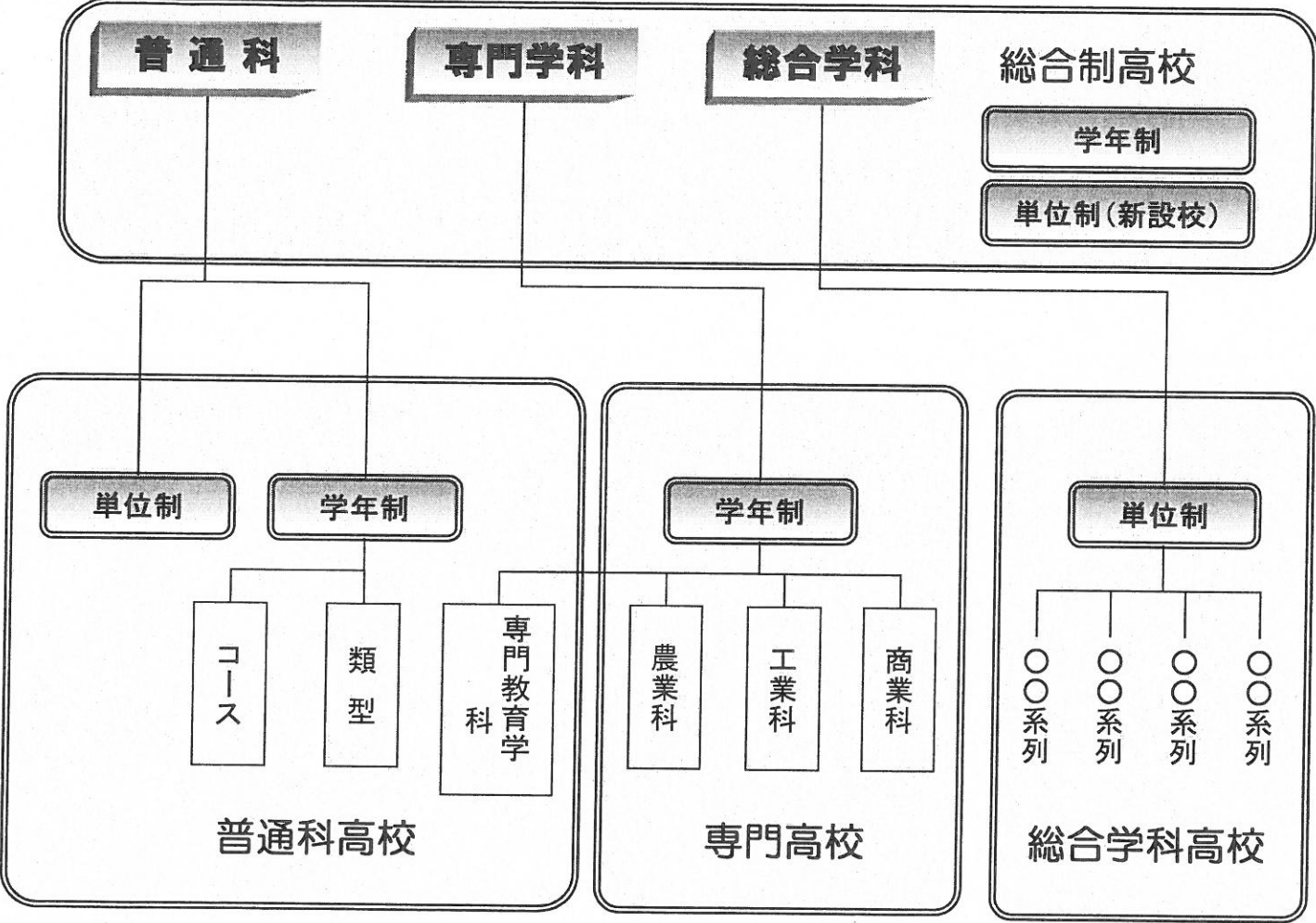
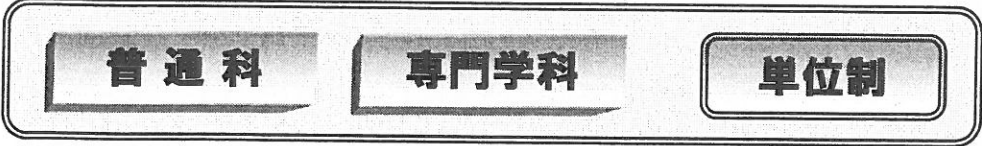


本県の高등학교制度

全日制高校



定時制・通信制高校



H21年整備基本構想の取り組み状況

項目	細目	魅力と活力ある高校づくりに 向けた方策	取り組みの状況
高校のあり方	学校の適正規模	<ul style="list-style-type: none"> 40人学級で1学年6学級を中心に4～8学級 	<ul style="list-style-type: none"> H30年度入試で1学年4学級規模を下回る高校が8校(うち3校は統合予定) 農林、白根、増穂商業、市川、 峡南、身延、塩山、上野原
	公立高校	<ul style="list-style-type: none"> 公私ともに本県の高校教育を担っているとの認識のもと、「公立高等学校協議会」において、生徒数減少への対応等、今後の諸課題について総合的な検討を継続 	<ul style="list-style-type: none"> 公立高校収容定員決定に当たり毎年度協議を行っている 公私協調事業の実施
各地域における高校のあり方	峡北地域	<ul style="list-style-type: none"> 市立高校との関係も踏まえ、普通科を設置する高校のあり方や専門高校の活性化について検討する 	[H23年度] <ul style="list-style-type: none"> 北杜高校 理数科改編 韮崎工業 学科改編
	甲府地域	<ul style="list-style-type: none"> 地域内に多様な高校が揃っており、交通の便にも恵まれていることから、周辺地域に十分な配慮を行いながら、定員の策定に当たる 	<ul style="list-style-type: none"> 周辺地域に十分な配慮を行いながら、定員を策定
	南アルプス地域	<ul style="list-style-type: none"> 生徒のニーズや多様な進路希望に応えるため、2校の特色づくりについて検討する 	[H24年度] <ul style="list-style-type: none"> 白根 コース改編 [H29年度] <ul style="list-style-type: none"> 巨摩 コース改編

項目	細目	魅力と活力ある高校づくりに 向けた方策	取り組みの状況
地域における高校のあり方	峡南地域	<ul style="list-style-type: none"> 県境に位置する高校の地理的状況、交通事情、生徒の通学状況などに配慮しつつ、既存の4校の再編整備について検討を進める 	<p>[H25年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> 身延 普通科系総合学科へ改編 <p>[H31年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> 身延 連携型中高一貫導入検討 <p>[H32年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> 市川、増穂商業、峡南の3校を統合し新設校を開校予定
	峡東地域	<ul style="list-style-type: none"> 笛吹高校が開校するが、生徒のニーズや多様な進路希望に応えるため、他の高校の特色づくりについても検討する 	<p>[H24年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> 日川 SSH導入 <p>[H26年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> 塩山 学科改編 <p>[H28年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> 山梨 コース改編
	東部地域	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の通学や進路希望の状況、地理的状況、学科の構成などを勘案しながら、市立高校との関係も踏まえ、再編整備について検討を進める 	<p>[H23年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> 上野原 普通科系総合学科へ改編 <p>[H26年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> 大月短大附属募集停止 <p>[H26年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> 谷村工業・桂を統合し、都留興譲館開校 <p>[H29年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> 都留興譲館へ第2希望制拡充
	富士北麓地域	<ul style="list-style-type: none"> 既存の3校が、調和を保ちつつ地域の生徒の教育に当たるという観点から、それぞれの高校の特色づくりについて検討する 	<p>[H23年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> 富士河口湖 コース廃止 <p>[H29年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> 富士北稜 系列改編

項目	細目	魅力と活力ある高校づくりに向けた方策	取り組みの状況
魅力ある高校づくり	普通科全般	<ul style="list-style-type: none"> 単位制、コース制、専門教育学科等の制度を活用する（制度の導入に当たっては、1校1制度が原則） 	<ul style="list-style-type: none"> 単位制、コース制、専門教育学科等の制度を活用し、各学校の特色化を継続的に推進している。
	単位制	<ul style="list-style-type: none"> 既存の3校を単位制として継続 高校の現状や地域性を考慮のうえ、他の地域への設置を検討 多様な教科・科目の開設、異年次授業の開講等、単位制を有効に活用し、生徒個々による主体的な科目選択の実現を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 甲府西、日川、都留の3校は単位制として継続 単位制を有効に活用した教育課程が展開されている [H32年度] 4月開校の峡南地域北部新設校に単位制を導入予定
	コース制	<ul style="list-style-type: none"> 名称、学習内容、募集方法など全般にわたり、学校の実態に応じて設定でき、改廃を含め、より創意工夫が行いやすい制度となるよう改編する 	<ul style="list-style-type: none"> [H23年度] 北杜(理数科→理数) 富士河口湖(理数:募集停止) [H24年度] 白根(国際文理→文理) [H28年度] 山梨(英語総合→英理総合) [H29年度] 巨摩(理数→理数創造)
	専門教育学科	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、専門性に配慮しながら、教育課程の柔軟な編成を行うこととし、継続する 定員割れが続き、今後も定員を満たすことが困難と予測される学校、教育課程の実施に苦慮している高校は学科の改編や存廃について検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 各校で継続。現在5科6校 [H23年度] 北杜(理数→理数コース) [H28年度] 甲府第一(英語→探究)

項目	細目	魅力と活力ある高校づくりに 向けた方策	取り組みの状況
魅力ある高校づくり	専門学科全般	<ul style="list-style-type: none"> • 社会の変化、とりわけ技術革新の進展に対応した学科再編等を推進する • 地域産業からの人材要請に応えうる施設・設備の充実や基礎・基本の習熟を図る • 専門的知識や技術の進歩に適応できる教育内容の充実に努める 	<ul style="list-style-type: none"> • 工業科3校、商業科1校で、新たな時代、技術に応じた学科の再編を行った。 • 中学生がより志願しやすくするための募集方法の変更を行った。 • 県の施策に沿うよう定員策定に配慮 [H32年度] • 4月、甲府工業へ専攻科設置予定
	農業科	<ul style="list-style-type: none"> • インターンシップ推進事業を充実する • 県立農業大学校や県内の農業関係試験研究機関と連携した実践的教育内容の充実に努める 	<ul style="list-style-type: none"> • 県立農業大学校との教育連携科目を実施
	工業科	<ul style="list-style-type: none"> • 地域産業からの人材要請に応えうる施設・設備の充実に努める • 企業実習の促進、インターンシップ推進事業の充実 • 産短大や山梨大工学部等との連携強化などにより、地域と連携した専門的、実践的教育内容の充実に努める 	<ul style="list-style-type: none"> • 企業実習を実施 • 産短大と連携し資格取得推進 [H23年度] 韮崎工業(理数工学→制御工学) [H24年度] 谷村工業(4科再編、都留興譲館へ引き継がれる) [H25年度] 峡南高校(4科→3科、クラフト、土木システム設置) [H30年度] 峡南高校(3科→2科、クラフト募集停止)

項目	細目	魅力と活力ある高校づくりに 向けた方策	取り組みの状況
魅力ある高校づくり	商業科	<ul style="list-style-type: none"> 甲府商科専等上級教育機関との連携を強化し、専門的知識・技術の習得を図る 資格取得に重点をおいた教育を推進する インターンシップ推進事業の充実など、商業科の個性化、特色化を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 地元と連携した商品開発 チャレンジショップ活動 地域でのイベント企画実践 資格取得の推進、支援の充実 [H26年度] 塩山(3科→2科、情報ビジネス設置)
	総合学科	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態や時代の変化を見極め、系列及び選択科目の見直しや教育内容の改善等を行い、今後も継続する これまでの設置方法に加え、総合学科のメリットを普通科の改編に活用し、「普通科目を基軸にした総合学科」の設置を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 甲府城西、北杜、富士北稜、笛吹(H22設置)は継続 [H23年度] 上野原に設置(普通科系) [H25年度] 身延に設置(普通科系) [H29年度] 北杜(系列改編) 富士北稜(系列改編)
	総合制高校	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの学科の特色づくりを進めることにより、全体としての活性化を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 北杜(普・総)、笛吹(普・農・総)、塩山(普・商)、都留興讓館(英理・普・工) [H29年度] <ul style="list-style-type: none"> 第2希望制の導入が進む 都留興讓館高校 普通⇔工業 [H32年度] <ul style="list-style-type: none"> 峡南新設校開校予定

項目	細目	魅力と活力ある高校づくりに 向けた方策	取り組みの状況
魅力ある高校づくり	定 時 制 課 程	<ul style="list-style-type: none"> • 昼間部、夜間部を含め、定時制全体の将来を見通した再編整備を検討する • 中央高校は、3部制の高校に改編し、国中地域の定時制昼間部の拠点校として位置付け、教育環境の整備・充実を図る 	<p>[H24年度] 中央(新校舎完成)</p> <p>[H25年度] 中央(3部制に改編)</p>
	通 信 制 課 程	<ul style="list-style-type: none"> • 中央高校の施設の整備・拡充を行う • 充実した教育課程の展開に努める • スクーリングについては、実態に即した実施方法を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> • ひばりが丘高校に設置した中央高校分室によるスクーリングの体制を継続 • 衛生看護科を継続 <p>[H24年度] 中央(新校舎完成)</p>
	中 高 一 貫 教 育	<ul style="list-style-type: none"> • 本県の目指す中高一貫教育の方向性を明確にする • 設置の必要性を基本から洗い直した上で、設置場所、設置時期、設置形態等について早期に検討を進める 	<p>[H23年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 高等学校審議会で答申。連携型で推進 <p>[H31年度] 身延高校への連携型中高一貫教育導入(身延中・南部中)</p>

高校の再編等の状況

公立高校

H元.4 (1989.4)



H32.4 (2020.4)

37校

(内定時制1校)

全日制▲9校
定時制+1校

29校

(内定時制2校)

H9

機山工業
第一商業 → 甲府城西

H13

峡北
峡北農業
須玉商業 → 北杜

H16

北富士工業
吉田商業 → 富士北稜

H22

石和
山梨園芸 → 笛吹

H26

谷村工業
桂 → 都留興讓館

H32

増穂商業
市川
峡南 → 新設校

H24

大月短大
付属 → 募集停止

※ 色付きは、現整備基本構想による再編

私立高校

H元.4 (1989.4)



H32.4 (2020.4)

10校

全日制 + 1校
(自然学園高 H30定員28名)

11校